

平成13年度岡山市総合政策審議会都市・交通部会（第2回）の主な意見

1 日 時 平成13年7月10日（火）午後1時30分～3時38分

2 場 所 ほっとプラザ大供 第3研修室

3 出席者 委員13名中9名出席

（阿部委員、佐伯委員、中村委員、村上委員欠席）

岡山市：山内都市整備局長、広瀬まちづくり担当局長、高橋局次長、  
池上都市開発部長、青木公園緑地部長、小寺土木部長、青山西部  
新拠点まちづくり推進本部長 ほか  
事務局：高橋参事 ほか

4 傍聴者 2名

5 会議概要

（1）傍聴の許可

（2）議題の説明、質疑応答及び事務連絡

6 主な意見

1 岡山操車場跡地整備について

- いろいろな施設が入り混じってたくさんある感じがする。癒しの時代と言われるが、もう少しゆったりとできないものか。普通の公園にして、憩いの場にすれば、全体的にゆったりとした、すばらしい広場ができる。
- 日比谷公園のように、東京にはたくさんの大きな公園があるが、都市になるためには、このような公園が必要であると思う。
- サッカーやソフトボールのように人数の割に場所をとるスポーツのために、地価の高いところに広場をつくる必要はないのではないか。
- 駅前広場をもっと広くとったほうがよい。
- 全体の構想の中でも個々の計画には濃淡があると思われる。財政問題を含め何から始めてどういう流れで全体像をまとめようとしているのか、その方向性を示すことが必要でないか。
- 当地を副都心とみるのか、何と見るのかによって、づくり方が変わってくる。中心部への求心力のことも考え、当地は、スポーツなどの公園として位置づけ、商業施設などについては、基本的な発想をもう一度よくまとめてほしい。
- この構想は、チボリ公園の案がつぶれた後処理という面もあり、費用対効果を考えれば、都心のこの地にこの種の施設を作らなくてはならないのかという根本問題を残しながら、一方で相当の公費を既につき込んできていることから、最低限ここまではやらないといけないところをはっきりさせる必要がある。現時点での経済環境と都市におけるあり方から考えて、多目的ドームとアクションスポーツパーク、さらに新駅設置という、やるべきところはきちっとやって、あとはしばらく時間をかけるべきではないか。市として本当にやらねばならないことをきっちりためてからやらねばならない。ただし、ここまで進んできたことについては評価したい。
- 当面は、購入済の土地に木を植えただけの公園にしておき、皆の意見をよく聞いて、よい案ができた時点で箱物をつくるというほうが無難である。
- フェンスを早く取り、草と木だけの自由に入れる広場にしてほしい。
- 防災の拠点として考えれば、洪水対策のための遊水地や調整池、あるいは雨水の貯留タンクなどの計画も必要ではないか。
- 計画のなかで笹ヶ瀬川の親水性というものを取り入れてほしい。
- 画一的な親水性ではなく、土の道を残すなど、いまの自然を活かしたものとしてほしい。